

今号の内容

・協議会の動き	1
・各活動グループの動き	1
・地域のトピックス	2
・生き生き伊深人（渡辺 寛さん）	3
・巻末雑感（久保田 博さん）	4

ホームページアドレス：<http://ibukamachi.com>

（左：鈴なりの柿 上本郷で）

■ 協議会の動き

コミュニティ施設、保育園統合などについての協議を重ねています

9月、10月の定例会では、新コミュニティ施設に関する課題を中心に協議を続けているほか、保育園の統合に伴う名称の件、小学校の統合の是非などについても協議しました。

■ コミュニティ建設推進委員会

- 利用方法として、住民の活動拠点、住民が憩える場所、高齢者が集える場所の要望があった。
- 土地活用に関しては JA の土地活用の検討、駐車場をエコステーションとして活用してはどうかという意見があった。
- 今後行われる市政懇談会などに要望として挙げていくことにしました。

■ 小水力発電稼働に伴う管理の件

- 9月10日に施設が稼働し、地元へ引き渡されましたが、運用にあたっては大雨のときの対応、日常的な水路の点検などについて課題があり、もう少し整理したうえで自治会へお願いしていくことになりました。



□ 小学校の統合に関する協議について

- 保育園統合の議論のなかで、「せっかく統合しても小学校でまた別れ、中学で合流するというのもおかしいのではないか」という意見が出され、組み合わせはともかくとして、地域、PTAを含めて『統合』の是非を議論していくべきではないかという方向になりました。

□ 大洞川に生息する国内外来種「オヤニラミ」の駆除に関する件

- 昨年7月に大洞川中下流域で生息が確認された国内外来種「オヤニラミ」について、市環境課、学者グループより、「生態系への影響がほとんどない電気ショックによる試験的な駆除を行いたい」との申し入れがあり、協議会としては了承しました。具体的な実施日程は未定です。



◀ 昨年捕獲されたオヤニラミ

■ 保育園統合に伴う名称の件

- 市こども課から新園の「名称」について意見聴取の要望があり、委員からは、『やまびこ』『ホテルの里』『双葉』などの意見が出された一方、「伊深のままでもいいのではないか」という意見も出されました。今後市で最終決定される方向です。

●● 文化祭でもち米・いちご苗を販売します!!

稲作体験・畑作体験で収穫したもち米・いちご苗を文化祭で販売します。代金は今後も体験学習が継続

できるよう、資材・肥料等の費用に充当させていただきます。



■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。
(代表者の敬称略)

子どもの居場所づくりグループ 代表：佐野 綾目

○引き続きのびのびと遊びながら活動しています。

小学校稲作体験支援グループ 代表：佐野 綾目

○10月1日に稲刈りを行いました。12月には収穫したもち米でもちつきを行う予定です。



○9月10日に枝豆の収穫を行いました。11月には大豆の収穫、いちご苗の植え付けを行います。



環境美化グループ

代表：井上美恵子

○短大下の花壇を毎月第1日曜日に手入れしています。

※その他の活動グループは特にありませんでした。

保育園畑作体験支援グループ 代表：大矢 伸司

■ 地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

9月10日、伊深・三和保育園児が枝豆の収穫を行いました。

保育園裏の畑で、伊深・三和保育園児が枝豆の収穫を行いました。約2か月半前に園児たち自身がまいたもので、丸々と実ったさやをブルーシートの上でもぎ取り、山のように集めていきました。今回の収穫は家でもあまり手伝ったことのない、貴重な体験となったようで、11月には大豆の収穫も予定しています。



9月10日、伊深小水力発電施設が本格運用を開始しました

伊深自治会館前に市では初の小水力発電施設が完成し、9月10日(火)に藤井市長と伊深小6年生の代表によりスイッチが入れられ本格運用を開始しました。再生エネルギーの一環として農業用水(天王用水)を利用して発電・蓄電するしくみで、平常時はLED防犯灯を点灯させるほか、災害発生時にはLEDパイプライト(20W)5台を36時間(夜間3日間)点灯し、携帯電話50台を0.5時間充電できる性能を備えています。



9月15日、伊深町敬老会が開催されました

9月15日(日)、今年も伊深町敬老会が盛大に開催されました。伊深町敬老会は、今年度新たに15名の会員を迎えて計216名となり、当日は106名の方が参加されました。素晴らしいことに、今年も市内で一番の参加率だそうです。伊深町の敬老会の皆さんが、元氣でお過ごしだという証ですね。



9月22日、運動会伊深地区大会が開催されました

各自治会から参加した皆さんが青空のもと、気持ちのいい汗を流しました。2年ぶりの開催となった大会は、伊深保育園児のダンスで幕開け。「どっこいしょ」「二人三脚」「大縄跳び」「自治会対抗リレー」など全13種目が繰り広げられ、下本郷が優勝、上切が準優勝となりました。



25年度の地籍調査が始まります

昨年度から始まった地籍調査事業が2年目を迎え、今年度は「追洞」「西田」「勝負池」「表平」「上町」「中町」の6字合わせて約45haが実施されることになりました。今年度は初めて「宅地」にも取り組むことになり、11月からは順次現地確認が始まりますが、地権者・隣接者自身で具体的な境界を指し示していただく必要がありますので、下準備をお願いします。



10月1日、伊深小5年生が稲刈りを体験しました

5年生が6月に植えた田が収穫時期を迎え、手刈りによる稲刈りを体験しました。今年は好天にも恵まれ、昨年より10日早い稲刈りとなりました。児童らは最初は要領を得ませんでしたが、そのうち慣れてくると鎌の使い方もうまくなり「楽しい!」といった声が聞かれるようになりました。収穫したもち米は学校の収穫祭で「もち」として利用されることになっています。



10月22日、4地区合同ふれあいサロンが開かれました

上本郷、関也、大洞、上切の4地区による初の合同ふれあいサロンが、正眼短大講堂で開かれました。伏見宿民謡研究会「遊酔」により津軽三味線、三線(さんしん)、尺八、太鼓、横笛などの楽器を使った民謡ライブが行われ、約80人の参加者は楽しいトークを織り交ぜた迫力ある津軽三味線の独奏や哀愁ある音色の尺八による歌謡曲、郡上踊りなどを楽しみました。



生き活き 伊深人

地域内で生き活きと活躍されている伊深人を紹介します

第4回

渡辺 寛さん
ゆたか

上本郷/昭和5年
生まれ/83歳



Q まず生い立ちをお聞かせください 終戦の
ときが15歳。当時の加茂農林にいて、卒業後は
農協、役場、加治田小学校などにしばらく勤めた
あと、母が弱かったもので家にいたんです。その
後、「役場へ出ないか」と声をかけてもらい、あ
とは昭和63年に定年退職するまで役所ひと筋で
した。

Q 寛さんというとはまず伊深の歴史にお詳しいという印象があるんですが、もともと歴史がお好きなんですか？ 好きは好きでしたけど、伊深のことについては昭和48年から52年にかけて「市史」をまとめる仕事があり、佐野一彦先生のお手伝いをしたことが直接のきっかけでした。伊深にまつわる伝説やおとぎ話をお年寄りに聞いて歩いたんですが、それをきっかけに興味を持つようになりました。

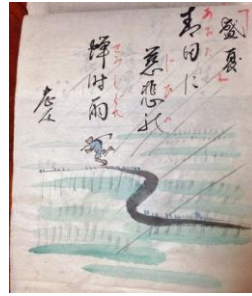
Q そのあとは？ 市史にまとめるだけではもったいない。これは後世に残していかなければと思うようになり、私なりにやさしくまとめることにしたんです。

Q いくつか本を出されていますね ええ。「伊深の歴史年表」に始まり、「郷土の歴史」、「郷土の民話」、「古里風土」、「伊深のあんなことこんなこと」で五冊を数えています。小学校でも呼ばれば伊深の歴史についてお話しています。

Q 渡辺さんが選ばれた「伊深の五偉人」があるとおききましたか？ あくまでも私が思うところの、ということですが、重罰を覚悟で地元住民のために直訴した天和の伊深義民、私財を投げ打って天王用水を作った柴田長七、伊深温泉や発電所経営などに果敢に取り組んだ渡辺新一、村長・県会議員を永年勤めた井上太十郎、そして民俗学者の佐野一彦

の五氏を挙げたいと思います。いずれも伊深にとって忘れてはならない功績を残した人たちで、そのことも語り伝えていきたいことの一つです。

Q ほかにどうしてもやっておきたいことはありますか？ 大正時代に天王用水沿いで行われていた「蛍灯ろう会」が昭和63年に川浦川畔で復活し、5年ほど行われたんですが、それらの記録を整理し伝えていきたいと思っています。俳句や狂俳を灯ろうに貼って蛍とともに楽しむ趣向で、当時は夏の風物詩として盛んだったようです。



◀蛍灯ろうに貼られた狂俳の一枚（絵、書ともに寛さん）



◀市史編さんのときに調べられ、寛さんの書でまとめられた「伊深の歴史年表」

●巻末雑感●

※住民の皆さまからの投稿を歓迎します。

まちづくり協議会に参加して

～1年間お世話になりました～

委員（伊深小PTA副会長） 久保田 博

○保育園・小学校の問題／ 伊深と三和の保育園の来年度の統合のほか、小学校でも来年度の一部複式化が決まっている。小学校も統合という問題が出てくる。保育園で統合するのに小学校で別々になり、中学校では三和、伊深、富加が一緒に通うことになる。今後いい方向性がないか考えなければならない課題です。

○伊深小稲作体験／ 6月5日に児童、先生、まち協・地域の皆さんで田植えを行い、その後まち協の皆さんで水管理、草取り、草刈りをしていただき無事豊作になりました。10月1日には同じメンバーで稲刈りをし、とれたもち米で餅

つきをして食べることになっています。自分の子どものおきも稲作体験をしており、とてもいい経験になると思います。今後も続けていってほしいと思っています。

○伊深自治会館前の小水力発電／ 各地で地震災害が多く、もしものとき小水力発電でLED防犯灯、夜間3日間点灯可能と携帯電話50台充電可能。とても災害に役に立つと思います。完成式典に市長さんと6年生の児童と地域の皆さんとふれ合うことができとてもよかった。そのあと、児童らと市長さんがグラウンドで走ったり話をしたり、とてもいい経験をしたと思います。

○コミュニティ建設について／ 自治会館は地域のいこいの場所としていろんな行事に利用されている。しかし老朽化のこともあり、新しいコミュニティ施設が建設でき、完成できることを願っています。